

議長定例記者会見 会見録

日時：令和2年9月9日 10時30分～

場所：全員協議会室

1 冒頭の挨拶

2 質疑項目

- 新型コロナウイルス感染症への諸対応について
- 自民党の総裁選等について
- 選挙区及び定数に関する在り方調査会について

1 冒頭の挨拶

(議長)おはようございます。ただいまから9月の議長定例記者会見を始めさせていただきます。本日は発表事項はございませんけれども、新型コロナウイルスに関する県議会の対応などにつきまして、少しコメントをさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症につきましては、本県におきましても、7月以降、短期間で新規感染者が急増しましたため、8月31日まで知事から緊急警戒宣言が発出されていたところでございます。9月1日からは解除となりましたけれども、新型コロナウイルスの感染拡大についてはまだまだ予断を許さない状況が続いております。

県議会としましては、8月19日に全員協議会を開催し、新型コロナウイルス感染症に関する県当局の対応を聞きとったところでございます。また、8月28日の緊急会議においては、「命と経済の両立を目指す『みえモデル』」に基づく取り組みをさらに加速するとともに、国の第2次補正予算に基づく取り組み等を実施するための補正予算、約181億円を可決いたしました。県議会の定例会議も17日から始まってまいりますので、感染防止対策を徹底し、これまで以上に気を引き締めて適切に取り組んでまいりたいと考えております。

県民の皆さまには、引き続き新しい生活様式による感染防止対策の徹底により、ご自身の身を守っていただきますとともに、ご家族や知人への注意喚起などにもご協力いただければと思います。また、新たに新型コロナウイルスに感染した方々、またその家族やお勤め先の企業等への差別、偏見、いじめ、誹謗中傷が生じないようお願いをいたしたいと思っております。私からは以上でございます。

2 質疑項目

○新型コロナウイルス感染症への諸対応について

(質問) 幹事社です。コロナの対応について、先ほどおっしゃりましたけれども、その中にもありましたけど、緊急警戒宣言を8月31日に解除されました。その後、その日、8月31日もそうですけど、その後、県内のクラスターがいくつか確認されている状況で、この県当局としてのこういう宣言を出す、出さない、解除するとかっていう判断についてどういうふうにご覧になってますか。

(議長) 判断については、その時点その時点の状況が、県内の状況が変わってくるところもございますので、難しい判断を迫られながら対応していただいているところだと思いますけれども、今のところ、県内の状況をしっかりと判断をしていただきながら、そしてまた国から出てまいります対応方針をしっかりと見据えていただきながら、適切に判断をいただいていると捉えております。

○自民党の総裁選等について

(質問) あともう1点、国政の話になって恐縮なんですけれども、昨日、自民党の総裁選が告示され、他方、明日は野党の合流新党の代表選が投開票になるわけですけれども、そういった動きを三重県議会の議長としてどういうふうにご覧になって、期待するところなど、期待や懸念など何かありましたらお聞きしたいと思うんです。

(議長) 総裁選につきましては、各社から報道いただく新聞記事でありますとか、またテレビ報道でありますとか、そういうところで見せていただく中で、コロナウイルス禍の中で、限られた発信になっているようでございますけれども、その限られた環境の中でも、大変活発に抱負なり政策なりを述べて競い合っていて、総裁選をやっていただいておりますし、また野党のほうも、代表選につきましても、また新たな政党を築いて一つの核になっていくんだという意気込みで取り組んでいただいている様子、大変活発にやっていただいているというふうにご覧いただいておりますけれども、私は三重県議会の中で議長という立場を仰せつかっておりますので、粛々と、活発に議論、方法を語っていただいている様子を、粛々とお聞きしながらさせていただいているというところがございます。

与党野党ということを超えて、これからやっぱり、期待させていただくのは、まずは当然ですけれども、この新型コロナウイルス感染症の影響が、まだまだ、おそらく長期化すると考えなければいけませんから、まず感染防止対策と、経済を回す両輪でいかなければいけないんでしょうけれども、とにかく国民の皆

さんに、このコロナ禍の中で、医療提供体制の安心ということも含めて、長引きますけれども、できるだけ安心感の持てる対策を、政策を打っていただきたいなとまずは今の状況の中では期待をさせていただきますのと、今の自民党の総裁選の中で総裁になられた方が、次期首相になられることになるわけですから、総裁選の中で思いますのは、このコロナ禍の中でも、確かな国民に対する対応とともに、合わせてこれからの時代を思います中で、この地方創生というものをこれまでやってまいりましたけれども、なかなか地方のですね、元気がなかなか出てこない。人口減少が止まらない、過疎が止まらないという状況でございます。一部の方では、東京圏1極集中の是正ってということも掲げられておる方もございますけれども、とにかくこの日本の構造を変えていただけるような政策を行っていただきたいと思いますし、格差社会が広がったとも言われておりますので、その辺も、一部その最低賃金の引き上げということを言われた方もありますので、その辺も、格差社会の是正ということも期待をしたいですし、また、複数の方が、デジタル化とかデータ化とかいうことで掲げられておりますけれども、三重県でも知事がデジタル・トランスフォーメーションの推進ということをキーワードのように掲げられて、これからのこのコロナ禍の中で、これから新しい社会を作っていくためには、デジタル・トランスフォーメーションの推進というものを大きく掲げられておりますので、そういうこれからのデジタル化の社会、相当よその国に比べると、その面が日本は今、少し置いてかれているというか、ちょっと他の国よりも遅れているというふうにもとられているところがございまして、そういうところを期待をさせていただきたいなと思っております。

いくつか述べましたけれども、そういうところ、この総裁選の、特に与党の総裁選の皆さん方の抱負を聞いている中で思わせていただきました。そして野党のほうも、代表選を経て大きな勢力を作っていこうということで、今進んでおるわけがございますけれども、野党であっても同じようなことを期待したいですし、特に野党のほうでは、やっぱり今、超高齢化社会の中で、また少子化社会の中で、社会保障の改革というのが本当に問われております。野党ならではの社会保障改革のしっかりとした提案をしていただきたいと思いますなと期待をしておりますけれども、とにかく分裂を重ねてこれまで来た経緯もありますので、ぜひ、野党の皆さまには大きな結集をこれからされるわけですから、国民の皆さまのために国家のためにしっかりと団結して、進んでいける政党を築いていただきたいと思いますし、やはり二大政党制に向けて政策を持って、競い合いながら国民から信頼されるもう一つの二大政党制の一翼を担う政党として、今一度、発展していただければなと野党のほうには期待をさせていただきたいと思っております。ちょっと長くなりましたがごめんなさい、以上です。

(質問)せつくなので副議長にも同じ質問させていただきたいんですが、総裁選始まりましたけども、今回どういうふうはこの総裁選の構図を見られていて、次期総裁、すなわち総理にはどういった方がふさわしいというふうにお考えか教えていただけますでしょうか。

(副議長)はい。ありがとうございます。総裁選に向けてのこの次期総裁がどういふような状況だというお尋ねだと思うんですが、衆参両議院の394票、そしてまた、都道府県に与えられた141票の過半数をとられる方、今、非常にメディアの中でも発表いただいている状況の中で、大体見えてきた、総理になれる方が見えてきたような状況でございます。ですからやはり、今、コロナ禍のこの状況の中でやはりコロナの対策、そしてまた経済対策をしっかりと打ち出していただけの方、そして安倍総理も非常に健康状態の中でですね辞任を表明をされました。そういった中で安倍総理のほうのもとでいろいろと、7年8ヶ月の中で経済対策を非常に打ち出していただいた方、その方が総理になれることを私は個人的には望んでおりますけども。新たな取り組みの中でですね、どのように政府が今後日本を引っ張っていただけるのか、こういう状況を期待したい。候補者の方もたくさん、3人みえますので、我々としては期待をさせていただきたいと思えます。やはり今、地方創生臨時交付金がですね、知事会の中の本部長の鈴木英敬知事も申されたようにですね、5000億円も足りないんだというようなこの経済状況の中で、そういった地方の声をしっかりと聞いていただけの方、そしてまた対策を打っていただけの方が総理にふさわしいのではないかなと思っておりますので。以上でございます。

(質問)先ほどの質問に関連するので議長にお伺いしたいんですけども、野党の合流新党の話、触れられておりましたけども、国政の中では一部参列の議員がですね、新党に合流しないという状況になっておりますけどこれは三重県政においてどういった影響を与えるというふうにお考えでしょうか。

(議長)三重県政において、直接影響っていうものをいかがかということは私はちょっと捉え切れませんが、しかしながらやはり、県民としては、県民というか私個人としてということでお許しいただきたいですけども、私個人としては、県民の皆さまから見ると、やっぱり一つ大きく、なんていうか集合していただいて進む、大きく参加もいただいて、一つになっていただいて、進んでいただく姿を見せていただくことのほうありがたいかなというふうに、これは私個人としての意見として申し訳ないんですけども、お許しいただいてお聞きいただきたいというふうに思いますが。三重県政に対する影響っていう

ものは、どこかではそれはあるのか分かりませんが、私たちの大きく進む中で、今、影響があることというのはちょっと私では判断できません。

○選挙区及び定数に関する在り方調査会について

（質問）定数の調査会が座長素案を出しました。原則削減というのが書いてある。1票の格差2倍以内でしたか、最大でも3倍以内ということなどが明記されておられるわけですが、まず、お二人にお尋ねするんですが、この座長素案の受け止め、どのように受け止められたかということからお尋ねします。

（議長）今現段階で座長素案ということでお示しをいただいておりますが、まだ調査が続いているところがございますので、なんらか感想めいたこと、申し訳ないですけれども、ここで述べさせていただくということは、意図しない、公平な状況を損なう恐れもありますので、今日のこの段階で申し訳ないですけれども、その質問にお答えさせていただくことは控えさせていただきますので、お許し願いたいと思います。

（質問）副議長も同じですか。

（副議長）議長と同意見でございますが、まだ最終案が提出をされておられませんし、我々議会として、正副としてしっかりとした対応、選挙区の定数に対する答申といいますか、案をしっかりと出していただいて、その後、協議をさせていただこうと、このような考えでございますので、よろしくお願ひしたいと思います。

（質問）そのように答えていただくことはおそらく想定の上で質問しているんですが、問題はその後、次回最終報告をまとめ、議長に提出されるということだと思いますが、その後、最終報告を受けた上で、この議論どのような形で進めていかれるかということについて、現状で想定ありますか。

（議長）どの辺りをお聞きいただいているのか、ちょっと答えがずれていたらまた後ほどですけれども、最終報告をいただいた後に、その最終報告を議会にしっかりお示しをさせていただいて、そしてその最終報告を受けた後に、できるだけ早いうちに議会としての検討を始めなければいけませんので、その対応についてできるだけ早くお諮りをさせていただいて、その後また皆さんもうご承知のことと思いますけれども、令和5年4月に行われます統一地方選挙を考えますと、逆算してやっぱり1年前くらいには我々議会としての結果を県民の皆さん方に定数と区割りの検討の結果を、逆算して1年ほど前にはお示しをす

るということが望ましいですから、それを見据えた検討をスケジュールを立てながらしていくことになろうと思います。ですから、報告を受けましたらできるだけ早期に諮らせていただいて、どういう形で、ひょっとすると、何らかの検討機関も設置することになるのかも分かりませんが、その辺も含めてお諮りをさせていただきながら進むこととなります。というようなことよろしいか。

(質問) 今のでスケジュールはもちろん把握させてもらったんですが、検討のプロセスですが、議長先ほどおっしゃったその何らかの検討機関の設置ということですが、これは前回のように特別委員会を設置して、議論していくという形ではないということですか。

(議長) いや、ではないということも断定もできませんし、前回と同じような形ということも、今、断定できません。ですから、これまで、前回に長い間、検討いただきながら、我々のほうで検討しながら結果が出せなかったという教訓や反省も踏まえて、どうしていったらいいかということをお諮りする中で、協議いただいて進んでいきたいと思っています。

(質問) 特別委員会以外の選択肢としては、検討の余地があるというニュアンスですか。

(議長) あると思いますけれども、それは今ちょっと私は、これからの過程ですので、今日、断定的なことは言えませんが、それも含めてとにかく、どうしていいかということをお諮りをさせていただいて、進んでいかなければいけないと思っています。

(質問) 副議長も同じご意見でいらっしゃいますか。

(副議長) 議長と同じような表現になろうと思いますが、10月には最終案が報告書として提出されるというふうに思っておりますし、10月の中で正副議長としてどう受け止めるか、そしてまた代表者会議にも諮らせていただいて、進めさせていただこうと考えておりますし、第三者機関に、選挙区に対してご協議をいただいているこの状況の中で、私たちはその報告書に対してどのように受け止めなきゃいけないかということをしつかりと議員全員が考えていただいた状況の中で、いい方向に進めさせていただきたいなと思います。以上です。

(質問) 他はよろしいですか。無いようですので、これで。ありがとうございます。

ました。

(議長) どうもありがとうございました。またこれからもお願いいたします。

(以 上) 10時54分 終了